

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立天竜特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立天竜特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	76人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子ドラムセット
使用学年及び人数	小学部、中学部、高等部児童生徒(50人程度)
使用頻度	ほぼ毎日(音楽の授業、休み時間)
使用状況	小学部、中学部児童生徒は、音楽の打楽器や合奏等の授業のときの導入で活用したり、興味をもった生徒が自由に演奏したりする時間に使用している。高等部は、主に昼休みに興味がある生徒や音楽が好きな生徒が自由に演奏している。
物品の使用による変化や効果	元々ドラムをやってみたいと思っていた児童生徒や、高等部の生徒の演奏を聞いてやってみたいと思った児童生徒が自分から楽器に触れていた。音楽の授業に消極的な児童生徒が興味関心を持ち始めるきっかけとなることもあった。 また、ヘッドフォンを使うことで音を気にせず演奏することができた。演奏した後は、「すごい！いろいろな音が出る！」と嬉しそうな表情で次の活動に移ることができている。演奏した生徒は、皆「(自分の)耳の中が、ライブ会場みたいで楽しい。」という感想を言い、時にダイナミックに演奏をしていた。
今後の活用の見通しや課題	ヘッドホンを着用して演奏することで周囲を気にせずに演奏できるため、好きな生徒は演奏をしたい気持ちが満たされて、音楽に対する自信に繋がっていたり、興味関心が深まったりしている様子が見られた。 今後も昼休み等の自由時間に、演奏が好きな生徒を中心に使用をしていながら、自由に楽器に触れられる機会を設定し、いろいろな児童生徒が体験できるようにしていく。
その他希望や所感など	

2. 活用の様子

ドラムを楽しんでいます。リズムに乗って気分は最高！です。
休み時間に楽しんでいます。

